

富士市長に聞く 昨年と今年

1971

1972

新聞記者

新春座談会

渡辺彦太郎

富士市政は「生活行政の推進」を基本方針にかかげ、みなさんと一緒になって、問題の解決と、富士市の未来像の追求につとめています。しかし、この市政に対する評価はどうか一日頃、富士市の取材にあたられている富士記者クラブ加盟8社の記者と、渡辺市長に、昨年の回顧、今年の抱負、期待などを話しあってもらいました。

71年へドロに明け へドロに暮れる



富士市長 渡辺彦太郎

司会 今年、渡辺市長が市政をおあずかりしてから3年目になるわけですが、予算の裏付け面だけから見ると、昨年が実質的な新年度ともいえるわけです。その1年間を一言で回顧するならば、かつて経験したことのない大変な年、だといえそうです。

その辺のところから、お聞かせいただきたいと思います。

記者 へドロに明けて、へドロに暮れた365日じやなかつたのかな。

記者 全日空機遭難事故という飛入りもあつたが、やっぱりへドロ処理に終始した1年といえるね。

記者 消防署の119番応答なしもあつたけど。あれは市民の非難を浴びたね。

記者 僕は、全日空機事故のあとでこの町にきたので、終末処理場建設問題が一番印象に残っている。

記者 へドロにからんだ、富士市政がどうだつたかということになるんじゃない

出席者

- 朝日新聞 熊川 亮 記者
- サンケイ新聞 小串勝征 記者
- 静岡新聞 天野正治 記者
- 東京新聞 山田元春 記者
- 日本経済新聞 北島洋次郎 記者
- NHK 中津川 貞 記者
- 毎日新聞 池田文洋 記者
- 読売新聞 高山次彦 記者……(五十音順)

富士市長 渡辺彦太郎
司会 企画調整部長 西条 弘



●鷹岡にも市立幼稚園を

鷹岡地区には市立の幼稚園がありません
保育園もありません。もつと、子どもの
育成を心がけてください。

(入山瀬・松井敏子 33才)



朝日・熊川記者

ですか…。ヘドロ退治は、
富士市民の共通の願いだと思
うんですよ
記者 私も同感だね。
市長 みなさんのご指摘の
ように、ヘドロ

処理に東奔西走の1年間でした。ジャーナリストのみなさんから見れば、ヘドロ処理は一步も前進していない。といわれるかもしれないが、曲りなりにもヘドロ退治、ができる機運が高まり、一つの見通しがたつたと思つています。

記者 しかし市長、一昨年が公害告発の年であり、昨年はその解決をはかる年としてスタートしたと思うんだが、期待どおりに進行できなかつたというのが、本音じゃないですか。

市長 残念ながら、そんな結果になつてしまいました。

記者 問題は今年に持ち越されたということですね。

記者 旧ろう、再び県から田子の浦のヘ

ドロ処理(※田子の浦港にたい積している約130万トンのヘドロを、春までに30万トンを富士川河川敷で処理する計画)をやりたい、という話しがあつたが、これとても、港のヘドロをこう処理していくという全体計画といいますか、抜本的なものを立てて、やるということじゃないようですね。今回もその場しのぎのようですけども…。

記者 だから、そういうところから見ると、まだ、メドがついたというのは早すぎるような感じがしますね。

市長 ヘドロ対策(※田子の浦港のヘドロ処理と発生源対策のこと)のちやんとした見通しができたのか、といわれるとまだ、相当問題があるので、ここで、自信をもつて「イエス」とはいえないのですが、昨年来の問題をキツカケに、一つの手法を進める基盤ができたことは確しかなんです。

記者 ヨチヨチ歩きをはじめたという感じですね。

記者 それも、自力というよりも、法によつてがんじがらめになつたから…。

記者 一連の住民パワーによる公害告発によつて、遅々ながら企業も目ざめたこ

とは確かだな。

記者 企業が公害にほんとうに目ざめたかには、僕は異論があるが、一つの公害に本腰になつて取組みはじめたことは、評価に値するんじゃないかな。

記者 企業も、住民に言われたから、法律ができたから——公害防止をするんじゃないやなくて、モラルというか社会責任において、公害をなくしていつて、もらいたいものだね。

公害対策審議会の
諮問に期待

司会 ヘドロ対策は、富士市にとつて確かに重要な問題ですが、そのほかの点については、どうですか。

記者 ぜん息児童の医療救済(※市内の小学6年生以下の児童が、公害病に認定されると無料で治療を受けられる)は、渡辺市政のヒットといえるんじゃないかな。

記者 それに関連して、この2月ころ、国の公害病認定地域の指定があるようだ



●バイパスの全工事完成を

昼となく、夜となく響く自動車騒音。バイパスが開通しても、国一の交通量は少なくなりません。バイパスの全工事完成と、富士川橋が無料になればよくなると思います。(柚木・鳥居秋蔵 48才)

ぼくらの
まち



東小学校 6年
栗田 豊満



ぼくの家は、新幹線と東名高速道路にはさまれています。

静かなよい町で、北は愛鷹山、南は浮島の田んぼが、駿河湾の松林まで続いています。

えびがに、めだか、ふな、くわがたながいもほりと四季の楽しみがつばいす。へドロなどの公害で苦しんでいる人たちにくらべると、ここは天国のような所だと思います。大きな

町でもありませんが、つくづく「いい町だなあー」と思います。

だけど、この美しい町をよごす人がいます。

「ゴミをすてないで下さい」という立札があるのに、なぜすてるのだから。市からゴミをとりにくるのだから、川にゴミをすてなくてもいいのになあー。

だが、こんな悪いことばかりではない。2丁目の店のおばさんだが、道にゴミがあると、はいてきれいにしています。こんな姿を見ると、ほんとうに頭がさがります。みんながおばさんのようなら、こ

が、それによつて国の方の認定を受ける患者も何人かできてきますね。そうすると市独自の医療救済に幅というか、例えばそれ以外の地域とか、年齢の幅を広げる考えはありますか。

市長 えー。その落ち穂ひらいをやらざるを得ないんじゃないですか。国は線引きをやりますからね。線引きからはづれたものについては、認定委員会の認定さえあれば、救済していかねばならないと思います。

記者 しかし市長、医療救済はあくまでも消極的な戦法ですからね。公害をなくすことが一番いいんですから。それがすぐにできないならば、医学的治療しかないわけですね。しかし、富士市の場合は中央病院の空気清浄器くらいでしょ。もつと治療器具をそろえとか、大学病院とタイアップして専門医の治療も受けられるようにしてほしいものだね。

市長 一生懸命やらさせていただきます。

記者 先ごろできた公害対策審議会（※公害をなくすためにできた市長の諮問機関で、29人の委員で構成されている）は注目すべきことですね。

記者 僕は審議会委員の選抜方法に、若

干疑問があるんですがね。というのはメンバーの中に、市民代表が何人か入っているけれど、大学の先生などの専門家の人たちと、同一問題を検討しようことに問題があるような気がするんだな。市民代表が折角参画しても、その人たちの意志がどれくらい審議会の中に反映させら



サンケイ・小串記者

れるか、など疑問が多いんだな一。

市長 いいですか。公害対策は専門的な係数や方程式がなければ、理論的な裏付けができない

と思うんですよ。しかし、私が市民代表の方々に期待していることは、例えば、大気汚染については、今、国が示している環境基準（※国の基準は0.05 P P mになつている）で富士市民はいいのか、もつと、きびしい基準にしろという意見があるのか——そういった公害退治の市民の生の声を聞くために、お願いをしたわけなんです。

記者 わかりました。公害対策審議会に大いに期待しましよ…。

記者 市民が総ぐるみで公害防止に取り組んでいる、わが国の地方自治体のモデルケースにしてもらいたいものだね。

打ち出したい

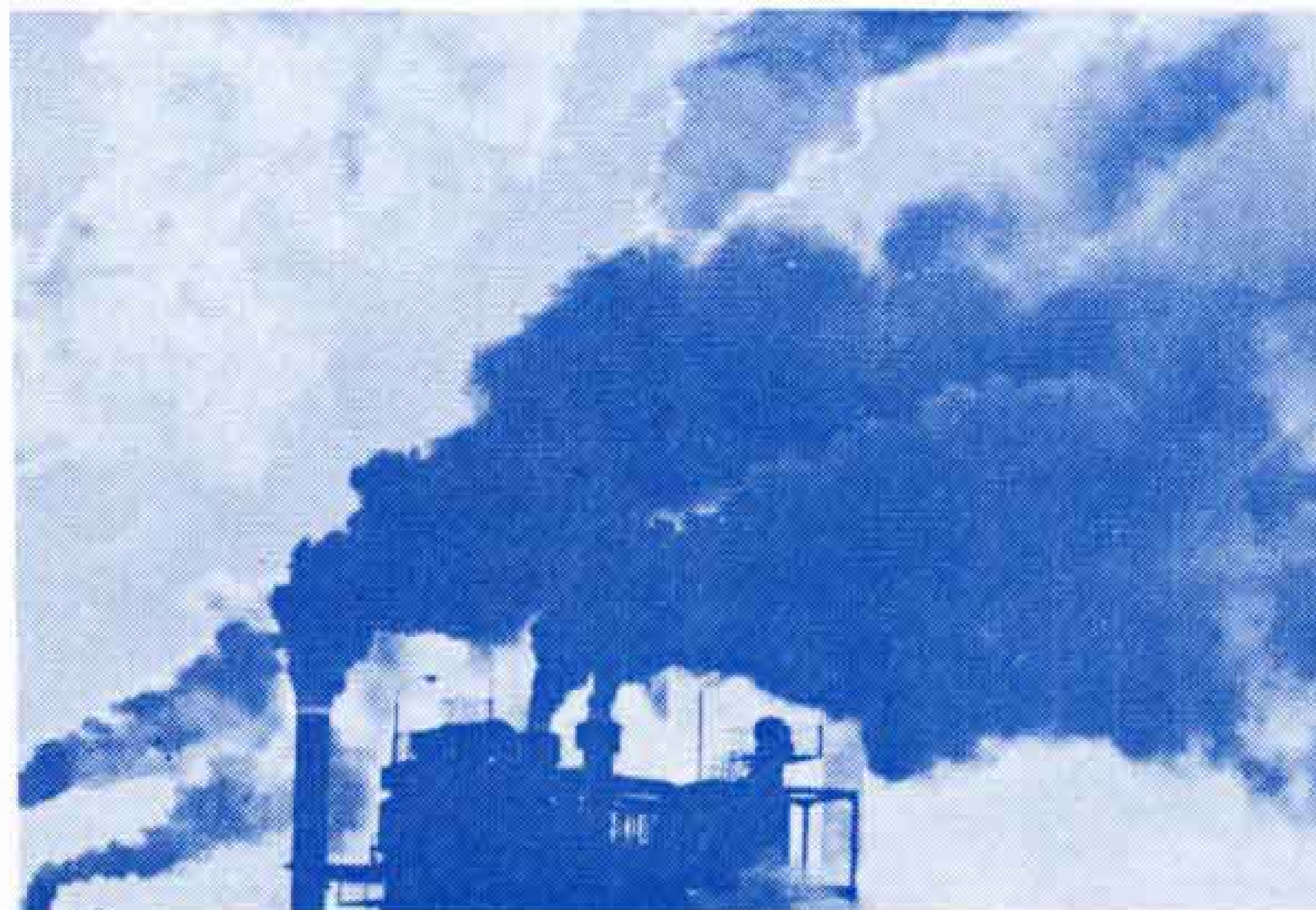
渡辺カラー

司会 渡辺市長は就任いらい、市民生活を優先する、いいかえれば、誰もが住みたくなるような都市づくりをしたい、という姿勢で市政にあたられているわけですが、そこらあたりの評価はどうですか。ズバリ言つてください。

記者 どうも、行政の中に渡辺カラーが出ていないような気がするね。

記者 僕も、いままで市長は、あまりにも大過なく過そうという、なまじ「革新市政」のレッテルを張られているばかりに、それにちぢこまりすぎている気がするね。もつと、市民のために「大過」をおかしてほしいと思うんですよ。

記者 大きな問題に忙殺されすぎました



●へドロより大気汚染を

富士市の公害というへドロといわれるが、むしろ大気汚染対策に力を入れるべきだと思う。各企業に対する市のしつかりした指導を（新橋・安井輝雄 37才）

の町はどんなに住みよく、すばらしくなるだろう。

ぼくは、このようなよい心をもつ人を見ると、ゴミをすてる人に「おまえがすてたんだから、はいてきれいにしろ」と言いたくなります。

あんなよい心を持っている人もあればへいきですてる人もある。世の中ついでいろいろだなあー。

ぼくたち一人一人がこの町を、よりよくしていかなければ、よその人にじまんできる町にならないと思います。みんなできつばな町にしたいなあー。



市議会議員

望月政三

19万市民の信託に こたえたい

昨年の富士市は、まことに多事多難な1年であつたことは、皆様ご承知のとおりであります。この激動する情勢のなかで、当市は岳南地域の経済・社会における中核都市として著しい高度成長を続けています。

しかしながら、このような都市化工業化の進展は、大気汚染、水質汚濁などの公害の激化、交通事故の増大、住宅難など、市民の経済社会活動の各般にわたり、大きな問題を提起しています。

これら諸問題に対処するためにはさらにいつそう公害防止対策、道路建設など諸施策に積極方針をとり、人間優先を考えた産業基盤の整備を図り、同時に住宅、公園、下水道など、日常生活に直結する生活環境施設を整備し、市民の福祉向上を図る諸政策を、積極的に推進しなければならぬと思います。

これらの解決をはかるため、最大の努力をする覚悟であります。

これからの自治体は、名実ともに内政の要となつて、豊かな地域社会の建設にとりくみ、青年富士市にふさわしい、輝かしい時代にする努力をしなければならないと存じます。

議決機関たるわれわれ富士市議会といたしましても、本年もまた終始公正に、19万市民の信託に応え、市政の諸問題を慎重に審議し、市民各位のご期待にそつよう努力する決意であります。

かな。

市長 具体的に渡辺カラーといわれても困るんですが私の気持は、いつでも市民サイドに立つた物の考えをし、実行に移



静岡・天野記者

しているんですよ。しかし、ある一面では、この2年間に私のとつた姿勢で市民からご批判もあるかもしれません。私はね、日本国中がそうであるように、富士市も終戦後4分の1世紀の中から生まれた難問題があまりにも多いんですね。当面ころした課題を始末することに専念せざるを得ないんですよ。ある場合には、取り組み方で「高姿勢」とおつしやられるかもしれませんが、その辺のところをご理解いただきたいんですが…。

記者 僕はね、前市長でもできたものを渡辺市長がやつても「革新色」は出ないと思うんですよ。いわゆる保守の市長だつたらできないものを、やるべきじゃないのかな。どうです市長さん。

市長 うん……。

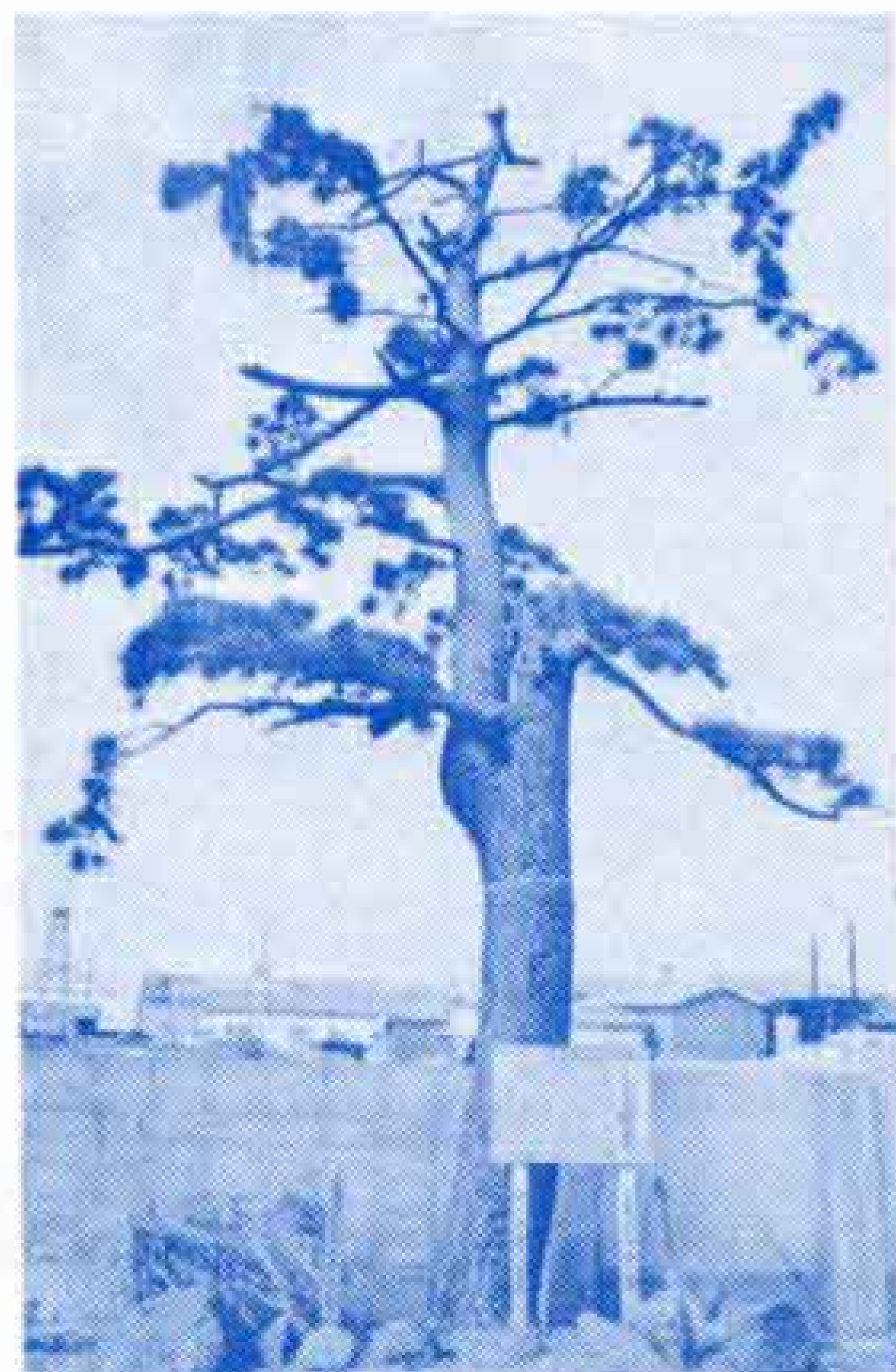
記者 残る2年間に、どのようなカラーを出していきますか。

記者 その前に、僕がお聞きしたいことは、ほんとうに市長が、私は革新という立場で、市政を行なつてきたか、どうかなんですが…。

市長 いまの日本の都市問題の中で「革新市政」とは何だといつたら、「市民サイド」の政治をするということと、私は思うんです。私はこの道を真つ直ぐ進むつもりでいます。

記者 渡辺市政は、この2年間、市民の上に立つた市政をやりたい、ということで、やれアンケートだ、懇談会だといつて、市民の声を吸いあげてはみたものの折角の声が、どうも市政の中にはねかえつてきていない感じがしますね。これは市長ばかりせめられないことだが、市の職員も「市民のための行政」に本気になつてもらいたいね。笛吹けど踊らずじや市民が不幸ですよ。

記者 渡辺市政は間口を広げすぎたという見方もあるが、僕は非常にいいことだと思うんだ。渡辺市長は、公害除去のピンチヒッターだけで市長の座についたわ



●もっと文化財の保護を

左富士、かぐや姫遺跡など多くの史跡、旧跡がある。ところが、荒れるにまかせ、ほとんど顧みられていない。文化財の保護をしつかり。

(伝法町2・小野晃 61才)

私たちの
まち



元吉原小学校6年
荒川百合子



きのう、友達と学校に来るとき、とてもよく晴れていて、空もきれいだつた。だが、富士山と私の間には、大昭和の工場と煙が、どつかりとすわりこんでいた
「今日は雲一つない日本晴れだね」
「そんなことはないよ。ほら、あそこに煙でできた、公害の雲があるじゃん」
なんて話しながら来た。
どんなに晴れていても、いつも公害の雲があるなんていやだなあー。
日本一美しい富士山が、だいなしになつちやうもの。
私は生れた時から鈴川に住んでいる。

けじやないのだから。それと、極端に言えば郷土愛みたいなものを、どうやつてかもし出していくかという「至上命令」があつて登場したと思うんだ。だから、市長はもつと間口を広げるべきだし、広げ方が少ないような感じもするね。

記者 広げるだけじゃ意味はないよ。広げたらそれを生かさなければ…。

記者 市民党市長といわれる渡辺さんが

全力投球した終末処理場の建設（※中小120工場の製紙汚水を富士岡耕地で一カ所で処理する計画だつたが、地元の反対で建設できなかつた）の波紋は大きかつたね。

市長 うん…。不徳のいたすところですよ。市民の方々にいろいろご迷惑かけたことを、反省しています。

神をつちかわなくては…。

記者 自己処理（※企業が個々に、法律にあらうように水をきれいにして、排出することになつた）をするには、敷地がない、金がないからつぶれるというが、実際は一軒だつてつぶれたりしないし、転業も廃業もないんだからね。やれば、できるんだよ。

市長 それは簡単に結論づけるわけにはいかないと思うんですよ。私が終末処理場に固執したのは、水をきれいにするだけでしたら個別処理も可能なんです。しかし、あとのスラツチの始末、焼却、それをまた、運ぶ交通事情を考えたから、個別処理を積極的に業界にもいえなかつたわけです。公害対策は局部的なものでは解決できないと思うんです。都市全体の中で考えていかなければ、恒久的な方策にはならないんじゃないですかね。もちろん、一た



東京・山田記者

公害防止、市民のなかに根をおろす

記者 富士川火力、そして、こんどの終末処理場建設をめぐる一連の公害問題をキツカケに、富士市にも住民運動の目げえ、いやそれ以上のものが出てきたように思うね。ことわつておくけれど、結果がいいか、悪るいかは別ですよー。

記者 公害は繁栄のヒズミくらいにしか考えていなかった市民が、口ぐせに「公害」はいやだというムードが、市民の中に一步一步根をおろしているといえると思うな。

記者 僕は富士川火力のときくらべて「公害反対」が純粹になつてきたような

気がするね。

記者 それは、どうかな。

市長 公害が困る、なんとかしなくちやというのは、19万人の市民の共通の願いであり、最大の課題ですからね。

記者 そういう意味でも、企業も住民パワーにおされて、仕方なく「公害防止」をやるんじゃないやなくて、どんどん先取りしてやるくらいの責任がなくては、ダメだよ。住民も納得し協力もしないと思うんだ。

記者 企業も行政依存をほどほどにしないと、だめなんじゃないのかな。自立精



●富士駅周辺整備に抜本策を

富士駅周辺の区画整理は、計画が発表されてからすでに10年たつたが、いつころに進展していない。このため、将来の計画もたてられず困惑している。抜本的な対策を…。

(平垣本町・渡辺和雄 46才)